

地域内分権の推進 ～第4ステージ以降の取り組み～

自治基本条例のテーブルの上で

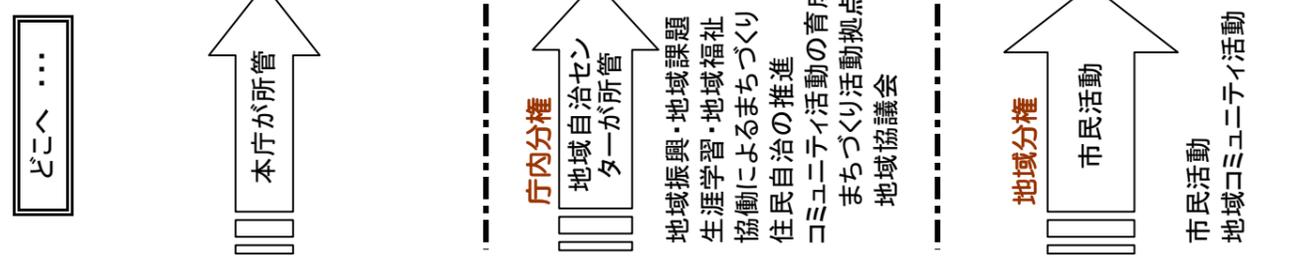
目標 **地域の個性や特性が生かされ地域力が発揮されるまちづくり**

自治基本条例の基本理念

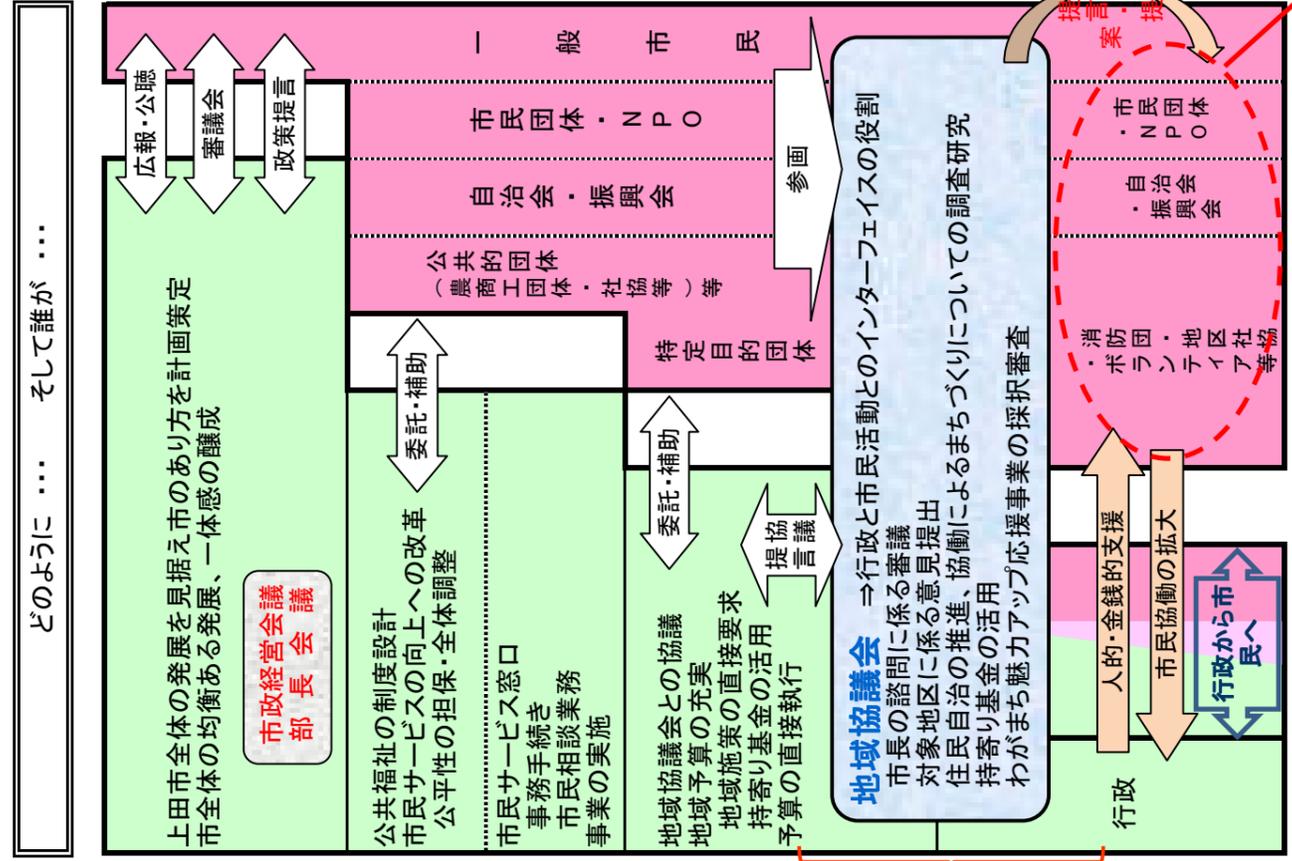
市民参加と協働
地域内分権による地域自治の推進

基本理念に基づく業務の分類

| | | |
|---------------------------------------------------|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 何を... | 何を... | 何を... |
| 総合計画 都市計画 幹線道路整備 地域医療施策 新産業支援 義務教育 | 福祉施策 環境施策 産業振興 上下水道 社会教育 | 地域づくり 商店街振興 地域活性化 地域イベント 地域課題 地域防災 地域福祉 |
| 市全体のため 推進する 発展の 事業 | 地域固有の課題・ 地域づくり事業 地域固有の課題・ 地域づくり事業 | 市民協働で（市民が主体 となつて）実施したい事 業 |



何を...
どこへ...
どのように...
そして誰が...



- 具体的な取組
- ステップ① (H24～26)**
 - 地域予算の充実
 - 要求範囲の拡大
 - 枠予算の拡充
 - 地域活動の受け皿（住民自治組織）、まちづくり補助・支援のあり方検討
 - ⇒活動の主体・地域の範囲（小学校区＝自治会地区連）
 - * 地域協議会...検討支援・提言
 - 人的支援の検討、実施
 - 現体制による支援
 - ⇒所要の組織整備、職員配置
 - ステップ② (H27～29)**
 - 住民自治組織の設立準備
 - 自治会地区連
 - 各所活動団体
 - ⇒緩やかな連帯
 - * 地域協議会...設立支援
 - 地域づくり交付金の制度設計
 - 枠予算→交付金化(試行交付)
 - ステップ③ (H30～32)**
 - 住民自治組織の設置
 - モデル設置→拡大
 - * 地域協議会...連絡・連携
 - 地域づくり交付金の確立・活用

地域別まちづくり方針の具体化
地域課題の地域内での解決方法
⇒ 地域で誰が、どのように行うべきか、協議会としても地域住民に提言
地域コミュニティ(組織)の醸成